

平成29年7月27日(木)
第1回芦屋市文化振興審議会

文化振興基本計画での課題と第2次文化振興基本計画での方向性について

文化振興基本計画での課題

審議会で出た現状と課題

- ◎芦屋らしさを活かす新たな取組の検討
- ◎コーディネート機能・プロデュース能力をもつ人材の発掘
- ◎ソーシャルマーケティングの視点の必要性
- ◎アウトリーチ活動やツーリズムとの連携
- ◎プロモーション活動の推進
- ◎文化ゾーンの特性を生かした取組の推進
- ◎潜在的な資源の活用
- ◎教育福祉など他分野との政策連携

(第2次文化振興基本計画 P10)

市民アンケート・ヒアリングによる現状と今後重点的に取り組む課題

- ◎文化芸術に関する積極的な情報発信
 - ・関心はあるが、市内文化財・事業が広く知られていない。
- ◎ライフステージに応じた文化政策の展開
 - ・文化芸術に関わる人材の育成と地域での活動機会の充実
- ◎子どもたちへ向けた文化政策
 - ・学校教育における文化学校教育
- ◎芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
 - ・文化による社会基盤形成や産業活動の発展

(第2次文化振興基本計画 P22,23)



第2次文化振興基本計画の方向性

【今後の方向性】

【(地域の魅力の) 真価】 × 【(文化による交流の) 深化】 = 【(魅力的なまちへの) 進化】

【重点取組項目】

- ①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
- ②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進
- ③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり

◎組織横断的な取組による政策関連系を基本とし、福祉や教育などまちづくりのあらゆる政策に文化の要素を反映。

(第2次文化振興基本計画 P24,25)